2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社ネオマーケティング　　上場取引所　東・名
コ ー ド 番 号　　4196　　URL　https://www.neo-m.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役　　(氏名) 橋本　光伸
問合せ先責任者　(役職名) 取締役グループCFO　　(氏名) 森田　尚希　　(TEL) 03-6328-2880

定時株主総会開催予定日　　2026年12月24日　　配当支払開始予定日　　―
有価証券報告書提出予定日　2026年12月23日
決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	2,712	17.6	41	281.7	46	505.9	353	―
2025年９月期	2,306	9.9	10	△30.0	7	△45.6	26	△81.9

(注) 包括利益　　2026年９月期　356百万円(　　―%)　　2025年９月期　26百万円(△81.9 %)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	143.55	141.69	36.2	2.3	1.5
2025年９月期	10.76	10.71	3.3	0.4	0.5

(注) 2026年９月期の親会社株主に帰属する当期純利益、包括利益の対前期増減率は1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	2,186	1,186	53.4	470.83
2025年９月期	1,798	790	43.9	323.29

(参考) 自己資本　　2026年９月期　1,167百万円　　2025年９月期　790百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	62	△198	△95	787
2025年９月期	49	207	48	1,018

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2026年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	3,200	18.0	100	141.5	100	115.6	180	△49.1	70.52

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　：　有

新規　2社（社名）　株式会社エッセンスマーケティング
株式会社PA Communication

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	2,552,400株	2025年９月期	2,534,000株
②　期末自己株式数	2026年９月期	72,654株	2025年９月期	88,774株
③　期中平均株式数	2026年９月期	2,465,855株	2025年９月期	2,475,378株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	2,376	6.9	24	―	31	―	354	―
2025年９月期	2,222	11.0	△6	―	△8	―	15	△79.9

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	143.56	141.70
2025年９月期	6.16	6.13

（注）2026年９月期の当期純利益の対前期増減率は1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	2,035	1,111	54.6	448.07
2025年９月期	1,736	734	42.3	300.19

（参考）自己資本　2026年９月期　1,111百万円　2025年９月期　734百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……3
（４）今後の見通し ……3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……3
３．連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）連結貸借対照表 ……4
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 ……6
（３）連結株主資本等変動計算書 ……8
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（セグメント情報等） ……10
（１株当たり情報） ……10
（重要な後発事象） ……10

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や継続的な賃上げを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策の動向、中東情勢をはじめとする地政学的リスク、為替相場や金融資本市場の変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

日本企業は、AI活用、イノベーションの創発、生産性の向上、人口減少の中での顧客創造、といったテーマに直面し、急速に変化する市場環境の中でマーケティングのあり方そのものの見直しを迫られております。そうした課題背景のもと、中長期的に当社グループが提供するマーケティング支援事業の需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、当連結会計年度は中期経営計画に沿って採用を実施したマーケティングコンサルタントの育成・教育に取り組み、中長期的な顧客獲得体制及びサービス受注体制拡充に向けた活動に注力いたしました。

サービス強化の取り組みに関しましては、株式会社エッセンスマーケティングを子会社化いたしました。同社はTikTokを中心とした若年層向けSNSマーケティングの設計・運用において高い実績を有し、特に成果創出に直結する運用ノウハウと人材育成力を強みとしております。企業のマーケティング活動において重要性が増しているSNSマーケティング領域における戦略設計力及び運用力の強化が図られ提案活動が進捗いたしました。さらにサービス強化の取り組みとしまして、株式会社PA Communicationを子会社化いたしました。同社は美容・ファッション領域に強みを持つ統合型マーケティングコミュニケーション会社として、有力ブランドとの豊富な取引実績を有し、戦略設計から実行・改善までを一貫して担う高い専門性と実行力を備えております。また、PRとデジタル施策を融合した統合提案力など、独自の強みを有しております。当社グループのPR領域におけるサービス機能が強化され、統合型マーケティングコミュニケーション戦略(※広告やSNS、PR、Webサイトなど、あらゆる顧客との接点で一貫したメッセージと体験を届ける）の案件受注活動が進捗いたしました。

また、クライアント企業の海外進出やインバウンド需要の取り込みのニーズの高まりに応えるべく海外向けや国内外国人を調査対象とした新サービスの開発に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,712,298千円（前年同期比17.6％増）、営業利益41,414千円（同281.7％増）、経常利益46,380千円（同505.9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益353,972千円（同1,229.2％増）となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の資産につきましては、2,186,347千円となり、前連結会計年度末に比べ387,521千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少231,782千円があった一方で、未収入金の増加273,125千円及び差入保証金の増加106,950千円があったことによるものです。

（負債）

負債につきましては、999,611千円となり、前連結会計年度末に比べ8,700千円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加39,342千円及び賞与引当金の増加32,133千円があった一方で、長期借入金の減少81,062千円があったことによるものです。

（純資産）

純資産につきましては、1,186,736千円となり、前連結会計年度末に比べ396,221千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益353,972千円の計上による利益剰余金の増加及び自己株式の処分による増加19,888千円があったことによるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ231,782千円減少し、787,181千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは62,583千円の収入(前期は49,220千円の収入)となりました。これは主に、移転補償金の計上による減少283,400千円があったものの、税金等調整前当期純利益294,983千円、のれん償却額23,772千円等があったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは198,536千円の支出(前期は207,551千円の収入)となりました。これは主に差入保証金の差入による支出99,301千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出81,133千円があったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは95,830千円の支出(前期は48,028千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出（純額）98,194千円があったためです。

（４）今後の見通し

翌連結会計年度（2027年９月期）においては、物価上昇や円安、資源価格・金融資本市場の変動、地政学的リスクなどにより先行き不透明な状況が続くと見込まれる一方、賃上げや雇用・所得環境の改善、個人消費やインバウンド需要の拡大など、景気回復を後押しする動きも継続すると予想しております。

日本企業は、AI活用やイノベーション創出、生産性向上、人口減少下での顧客創造といった課題に直面しており、これらの課題解決を支援するマーケティングサービスへの需要は引き続き堅調に推移すると考えております。

このような環境の中、当社グループは2026年９月期において、中長期的な成長に向けた組織基盤の構築を目的に、マネジメント層や若手コンサルタントの採用・育成に取り組むとともに、PR・SNSマーケティング領域におけるM&Aを通じて、サービス提供体制の強化を進めてまいりました。

2027年９月期においては、新中期経営計画に掲げる「基盤事業の成長」「コンサルタントの戦力化」「M&Aによる事業拡大」の３つの成長戦略を推進してまいります。

基盤事業については、既存顧客との関係深化に加え、PR・SNSマーケティングやWEBマーケティングなどのサービスを組み合わせた提案を強化し、取引社数および顧客単価の向上を図ります。また、これまでに蓄積した４万件を超えるプロジェクトの知見や教育体制の標準化を通じて、コンサルタントの早期戦力化を進め、従業員１人当たり売上高の向上を目指してまいります。

さらに、既存事業とのシナジーを重視したM&Aを推進し、PR・SNSマーケティングやWEBマーケティングを中心としたサービス領域の拡大を図ることで、非連続な成長を目指してまいります。

これらの成長戦略を支える共通基盤として、AIの活用を積極的に推進し、業務生産性の向上と顧客への提供価値の高度化を両立させることで、グループ全体の収益力および企業価値の向上に取り組んでまいります。

上記の考えに基づき、2027年９月期の業績の見通しにつきましては、売上高3,200百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益100百万円（前年同期比141.5%増）、経常利益100百万円（前年同期比115.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益180百万円（前年同期比49.1%減）と見込んでおります。

なお、上記の業績見通しは現時点において入手可能な情報に基づき策定したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,018,964	787,181
受取手形及び売掛金	332,831	427,821
商品	5,045	－
仕掛品	22,235	26,905
貯蔵品	7,146	4,672
未収入金	4,487	277,612
その他	41,740	52,617
貸倒引当金	△294	△1,001
流動資産合計	1,432,157	1,575,810
固定資産		
有形固定資産		
建物	44,393	35,204
減価償却累計額	△16,847	△28,730
建物（純額）	27,546	6,474
リース資産	4,122	4,122
減価償却累計額	△2,317	△1,921
リース資産（純額）	1,804	2,200
その他	19,881	19,575
減価償却累計額	△17,717	△17,331
その他（純額）	2,163	2,244
有形固定資産合計	31,514	10,919
無形固定資産		
のれん	128,763	217,578
顧客関連資産	21,266	18,466
ソフトウエア	29,804	23,647
無形固定資産合計	179,835	259,692
投資その他の資産		
繰延税金資産	104,358	180,816
差入保証金	43,961	150,911
その他	6,999	8,197
投資その他の資産合計	155,319	339,925
固定資産合計	366,668	610,537
資産合計	1,798,826	2,186,347

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,011	119,353
1年内返済予定の長期借入金	183,200	198,508
未払金	30,448	48,970
前受金	13,333	12,232
リース債務	796	906
賞与引当金	－	32,133
未払法人税等	5,471	10,236
未払消費税等	37,527	36,231
パネルポイント引当金	86,673	86,815
株主優待引当金	9,460	11,106
未払費用	88,820	70,998
その他	22,863	21,102
流動負債合計	558,605	648,594
固定負債		
長期借入金	445,289	348,919
リース債務	1,339	1,642
資産除去債務	3,077	455
固定負債合計	449,706	351,017
負債合計	1,008,311	999,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,824	87,399
資本剰余金	284,589	286,165
利益剰余金	526,974	880,946
自己株式	△106,873	△86,984
株主資本合計	790,514	1,167,526
非支配株主持分	－	19,209
純資産合計	790,514	1,186,736
負債純資産合計	1,798,826	2,186,347

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,306,479	2,712,298
売上原価	1,227,556	1,470,530
売上総利益	1,078,923	1,241,768
販売費及び一般管理費	1,068,073	1,200,353
営業利益	10,849	41,414
営業外収益		
受取利息	853	2,260
受取配当金	－	0
受取補償金	－	2,368
業務受託料	109	7,905
その他	973	704
営業外収益合計	1,935	13,238
営業外費用		
支払利息	5,130	7,680
その他	－	592
営業外費用合計	5,130	8,272
経常利益	7,654	46,380
特別利益		
子会社株式売却益	1	－
移転補償金	－	283,400
特別利益合計	1	283,400
特別損失		
減損損失	－	16,983
固定資産売却損	－	6,507
固定資産除却損	－	1,451
事務所移転費用	－	9,853
特別損失合計	－	34,796
税金等調整前当期純利益	7,655	294,983
法人税、住民税及び事業税	8,057	14,013
法人税等調整額	△27,032	△75,436
法人税等合計	△18,975	△61,423
当期純利益	26,630	356,406
非支配株主に帰属する当期純利益	－	2,434
親会社株主に帰属する当期純利益	26,630	353,972

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益	26,630	356,406
包括利益	26,630	356,406
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	26,630	353,972
非支配株主に係る包括利益	－	2,434

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	85,621	285,622	500,343	△61,296	810,290	－	810,290
当期変動額							
新株の発行	202	202			404		404
親会社株主に帰属する当期純利益			26,630		26,630		26,630
自己株式の取得				△59,966	△59,966		△59,966
自己株式の処分		△1,234		14,389	13,154		13,154
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－	－	－
当期変動額合計	202	△1,032	26,630	△45,576	△19,776	－	△19,776
当期末残高	85,824	284,589	526,974	△106,873	790,514	－	790,514

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	85,824	284,589	526,974	△106,873	790,514	－	790,514
当期変動額							
新株の発行	1,575	1,575			3,150		3,150
親会社株主に帰属する当期純利益			353,972		353,972		353,972
自己株式の取得					－		－
自己株式の処分		1		19,888	19,889		19,889
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－	19,209	19,209
当期変動額合計	1,575	1,576	353,972	19,888	377,012	19,209	396,221
当期末残高	87,399	286,165	880,946	△86,984	1,167,526	19,209	1,186,736

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,655	294,983
減価償却費	16,204	16,399
減損損失	－	16,983
のれん償却額	16,748	23,772
貸倒引当金の増減額（△は減少）	51	405
パネルポイント引当金の増減額（△は減少）	4,596	142
株主優待引当金の増減額（△は減少）	9,460	1,646
株式報酬費用	10,722	12,840
事務所移転費用	－	8,049
受取利息及び受取配当金	△853	△2,260
支払利息	5,130	7,680
固定資産売却損益（△は益）	－	6,507
移転補償金	－	△283,400
売上債権の増減額（△は増加）	△60,005	△43,767
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,246	3,396
子会社株式売却損益（△は益）	△1	－
固定資産除却損	－	1,451
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△18,589	△364
仕入債務の増減額（△は減少）	11,550	17,379
その他の流動負債の増減額（△は減少）	11,040	2,719
小計	14,957	84,566
利息及び配当金の受取額	853	2,260
利息の支払額	△5,130	△7,680
事務所移転費用の支払額	－	△8,049
法人税等の支払額	△6,098	△12,510
法人税等の還付額	44,638	3,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,220	62,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△204	△4,548
貸付けによる支出	－	△10,000
無形固定資産の取得による支出	△2,741	△4,636
差入保証金の差入による支出	△3,696	△99,301
差入保証金の回収による収入	214,200	1,084
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△81,133
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△6	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	207,551	△198,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	404	3,150
長期借入れによる収入	250,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△136,503	△198,194
自己株式の取得による支出	△59,966	－
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,000	－
その他	△906	△786
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,028	△95,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	304,800	△231,782
現金及び現金同等物の期首残高	714,163	1,018,964
現金及び現金同等物の期末残高	1,018,964	787,181

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	323.29円	470.83円
１株当たり当期純利益	10.76円	143.55円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	10.71円	141.69円

（注）１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,630	353,972
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,630	353,972
普通株式の期中平均株式数(株)	2,475,378	2,465,855
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	12,261	32,423
（うち新株予約権にかかる増加数(株)）	(12,261)	(32,423)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	―

（重要な後発事象）

該当事項はありません。